

## 新年のごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長 武井 郁郎

新年明けましておめでとうございます。県下77団、3万3千人余の消防団員を始め、消防関係機関の皆様が、令和3年の新春を、御家族ともどもお揃いで、お迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、それぞれの地域において、郷土愛と奉仕の精神のもと、地域住民の生命、身体、財産をあらゆる災害から守るため、身の危険をも顧みず、日夜献身的に御活躍されておりますことに、深く敬意を表しますとともに、当協会の事業運営に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、多発する地震、台風や集中豪雨による災害に対し、地域の安全と安心を守るために活動する消防団はまさに「地域防災力の要」であり、その重要性は増々高まっております。

昨年からの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、消防団活動等にも大きな影響が出ておりますが、有事の際に備え、引き続き、感染予防対策を徹底し、日々の訓練等消防団活動に努めていただければと思います。

長野県消防協会としましても、より安全で快適な郷土をつくるため、消防団が活性化し、活動がより安全で迅速なものとなるよう、さらに努力してまいりたいと考えております。

昨年12月16日に開催した第2回専門委員会、第4回理事会において令和3年度の事業執行方針が決定されました。主な事業を申し上げますと、昨年中止となりました、県消防ポンプ操法大会・県消防ラップ吹奏大は、7月11日に千曲市で、県消防団長・事務担当者研修大会は、10月22日に長野市でそれぞれ開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症が収束し、予定通り開催されることを願っています。

また、県消防ポンプ操法大会等の今後のあり方を検討する「県消防ラップ吹奏大会等のあり方検討会」につきましては、現在まで、4回の検討会を開催し、様々な観点から検討を進め、報告書が取りまとめられました。これを受け、理事会等で、具体的な実施方法等を検討してまいります。

今後も、事業執行方針に基づき、役員一同一丸となり、事業執行に当たってまいり所存でありますので、本年も相変わらず御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が災害のない良い年でありますよう心から願うとともに、皆様方の益々の御健勝と御多幸を祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。

令和3年1月